

文理芸融合の
グローバル総合大学へ



九州産業大学
九州産業大学造形短期大学部

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY, ZOKEI JUNIOR COLLEGE OF ART AND DESIGN

2023 要覧

文理芸融合の
グローバル総合大学へ



学校法人中村産業学園 理事長 津上 賢治

本学は1960年、「産学一如」を建学の理想とし、商学部商学科の単科大学として開学しました。「産学一如」とは、「産業と大学は車の両輪のように一体となって、時々の社会のニーズを満たすべきである」というものです。

以後、時代とともに規模を拡大し、現在では9学部21学科・大学院5研究科と短期大学部を有し、1万人を越す学生

が学ぶ総合大学に成長、14万人を越す個性豊かな卒業生が政財界や文化芸術・スポーツ界などで活躍しています。

「中期計画」(2021-2030)では、最終目標を「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と定め、「教育」「研究」「国際化」「産学連携」「社会・地域貢献」「ダイバーシティ」「ブランディング」「経営基盤」という8つの分野において着

実な事業展開を進めています。

特に、「国際化」の取組としては、昨年度2月、スタンフォード大学との連携により、SPICEオンライン授業「Stanford e-KyuSan-U」が始まり、グローバル人材育成に力を注いでいるところです。

創立100周年に向け、「新たな知と地をデザインする大学」として、さらなる発展を目指します。

建学の理想

産学一如

産業と大学は車の両輪のように一体となって、
時々の社会のニーズを満たすべきである。

建学の理念

市民的自覚と中道精神の振興
実践的な学風の確立

この建学の理念は、「視野が広く、とらわれない精神と優れた判断力を持ち、
社会において指導的役割を果たすことができる人材を育成する」ことを表している。

この理念は、建学の理想「産学一如」を実現するために不可欠である。

創立100周年に向けたビジョン

新たな知と地をデザインする大学へ

— もっと意外に。もっと自由に。 —

中期計画(2021-2030)最終目標

文理芸融合のグローバル総合大学へ

中期計画(2021-2030)

本学は、創立100周年に向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へーもっと意外に。もっと自由に。ー」の実現に向けて、2021年度からの10年間で取り組むべき事項をまとめた「中期計画(2021-2030)」を策定しています。

「中期計画」では、最終目標を「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と定め、「教育」「研究」「国際化」「産学連携」「社会・地域貢献」「ダイバーシティ」「ブランディング」「経営基盤」という8つの分野を設け、その達成に向けて事業を推進しています。



■各分野における主な取り組み

教育分野では「クロス科目」「コラボ科目」などの文理芸が融合した教育プログラムの構築を、研究分野ではオンライン研究の創出を、国際化分野では「KSU-COIL型教育」「Stanford e-KyuSan-U」などのグローバル人材を育成するプログラム展開を行っています。

また、産学連携分野では大学と産業界が直結した社会性の高い研究の促進を、社会・地域貢献分野では地域のニーズに対応した学生ボランティアなどの地域貢献活動の推進を、ダイバーシティ分野では誰もが利用しやすいキャンパス・環境づくりを通じた多様な学生への支援を行っています。

さらに、ブランディング分野では「もっと意外に。もっと自由に。」を掲げる本学ならではのイメージ構築を、経営基盤分野では継続的な組織改革やIR機能の強化など大学運営の基盤強化に取り組んでいます。

KSU×SDGs

九州産業大学は、SDGsの実現に向けた活動を全学的な取り組みとして位置付けさらに加速させるため、「学長宣言」を制定し、取り組みの強化を図っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



学長宣言

九州産業大学は、SDGsを推進すると共にSDGsリーダーを育成することを宣言します。

九州産業大学 SDGs推進方針

- ① 文理芸融合の研究を促進し、社会課題の解決に努める
- ② 地域、産業界と連携して、地域社会の発展や課題解決に貢献する
- ③ SDGsの意識向上を図り、持続可能な社会の実現のために行動できる人材を育成する

この宣言に基づき、2022年度よりSDGsをテーマとした文理芸融合科目「実践コラボ演習(SDGs)」を新たに開講するとともに、企業や自治体と推進してきた「KSUプロジェクト型教育」や国連ハビタット福岡本部との連携によるグローバル教育などのSDGs関連の活動を、「教育」「研究」「社会・地域貢献」「ダイバーシティ・インクルージョン」「環境・防災」の5分野に分類し、それぞれの分野で行動目標を定めて取り組みを強化し、SDGsの達成に貢献する次世代リーダーの育成に努めます。

■各分野の行動目標と本学の重点的SDGsゴール

教育	Education	SDGsへの理解を深める教育や、地域や企業などと連携した実践的学習を通して、学生の社会課題への関心を深め、持続可能な社会のために行動できる人材を育成する。	 
研究	Research	SDGsに関連する研究を推進し、研究成果を通じてSDGs課題の解決に貢献する。	 
社会・地域貢献	Social and Regional Contribution	地域の課題解決につながるSDGsプロジェクトなどの貢献活動や、企業や自治体などとのパートナーシップにより地域社会に貢献する。	  
DE&I	Diversity Equity Inclusion	全ての人々が学び合い、能力を高められる大学を目指し、あらゆる人々の活躍促進に貢献する。	   
環境・防災	Environment / Disaster Prevention	安全かつ持続可能なまちづくりに貢献するとともに、カーボンニュートラルを実現する地球にやさしいキャンパスを整備する。	     

3 九州産業大学の 3つのポリシー

1 アドミッション・ ポリシー

(入学者の受け入れ方針)

2 カリキュラム・ ポリシー

(教育課程の編成・実施の方針)

3 ディプロマ・ ポリシー

(学位の授与方針)

1

本学は、次の能力・意欲を持った人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、学習意欲が高い人。
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人。
3. 特定分野において卓越した能力を持っている人。

2

本学は、KSU基盤教育を基礎として、各学部・各学科の専門科目の正課教育、並びに総合大学として特色あるKSUプロジェクト型教育を行う。また、サークル活動やボランティア活動といった正課外教育も行う。

1. KSU基盤教育において、幅広い教養及び総合的な判断力を培うとともに豊かな人間性を持った人材を育成する。
2. 専門教育において、特定分野を学び社会で実践できる人材を育成する。
3. KSUプロジェクト型教育及びその他の正課外活動において、様々な経験をすることにより、他者をいたわることや地域の課題解決など地域に貢献する人材を育成する。

3

本学は、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 幅広い教養と専門的知識を備え、適切に活用できる。
2. 論理的に思考し、判断することができる。
3. 技術・技能を修得し、創造力・実践力を発揮できる。
4. グローバルな視点で多様な人々とコミュニケーションを行い、熱意を持って持続可能な社会の発展に貢献できる。
5. 広い視野を持って、主体的に他者と協力できる。
6. 情報技術を活用することができる。





時代が求める人材輩出を目指して

九州産業大学 学長 北島 己佐吉

本学は、「文理芸融合のグローバル総合大学」を目指し、大胆な構想に基づいた長期的なビジョンとその実現に向けた着実な行動のもと、創造性あふれる豊かな感性を持った専門性の高い人材の養成に取り組んでいます。

取組の一つとして、昨年度、全学参加の「KSU VISION DAY 文×理×芸=展」を開催いたしました。基調講演を始め、研究シーズやプロ

ジェクト型教育、産学連携事例等について112のテーマ発表が行われ、2日間の期間中、学内外から約1,300名の来場者を迎える事ができました。

本年度は、実学重視の文理芸融合の教育プログラムとして「グローバル・フードビジネス・プログラム」がスタートしました。グローバル化するフード産業で活躍できる人材育成を目指します。更に、“やる気”のある学

生に伝える応援プログラムとして、「アドバンスプログラム」がスタートしました。少人数制で高度な専門知識とスキルを修得し、自身のスキルアップに繋げ、社会に貢献する人材の育成を目指します。

これからも、「変化の時代」を「チャンス時代」と捉え、学生支援、教育改革に力を注いでいきます。

新たな知と地をデ

—もっと意外に。

学部	キーワード	学科
国際文化学部	日本文化と海外の文化を学び、国際人として活躍できる人材を育成。	国際文化学科
		日本文化学科
人間科学部	いつの時代も産業を支える「人間」を、学術的かつ科学的に探究。	臨床心理学科
		子ども教育学科
		スポーツ健康科学科
経済学部	人々の生活に関わる経済を学び、地域や世界の諸問題を理論的に考える力を養う。	経済学科
商学部	「九州・アジアの地域社会・行政・企業を対象とした実践的な学び」を通じて、次代の産業界をリードする人材を養成。	経営・流通学科
地域共創学部	地域の新たな活力や持続可能な観光の明日を、「地域」と「共」に「創」る。	観光学科
		地域づくり学科
理工学部	情報メカトロニクスを幅広く学び、世界や地域社会で活躍できる人材を育成。	情報科学科
		機械工学科
		電気工学科
生命科学部	新素材、化粧品、医薬品、食品分野で活躍できる人材を育成。	生命科学科
建築都市工学部	建築、住居・インテリア、都市・土木を総合的に学ぶ。	建築学科
		住居・インテリア学科
		都市デザイン工学科

向けたビジョン

ザインする大学へ

もっと自由に。――

学部	キーワード	学科
芸術学部	一人ひとりの知性と感性で、新しい時代を描いていく。	芸術表現学科
		写真・映像メディア学科
		ビジュアルデザイン学科
		生活環境デザイン学科
		ソーシャルデザイン学科
造形短期大学部	自由に表現の幅を広げ、造形芸術をとおして地域社会に貢献できる人材の育成。	造形芸術学科
大学院	新たな価値を創造し社会を牽引する人材を育成。	国際文化研究科
		経済・ビジネス研究科
		情報科学研究科
		工学研究科
		芸術研究科

DATA

令和5年5月1日現在

	入学定員	学生数	卒業者数	教職員数
九州産業大学	2,530人	10,194人	134,264人	656人
九州産業大学 大学院	135人	145人	3,191人	
九州産業大学 造形短期大学部	150人	293人	11,109人	20人

KSU基盤教育

深い教養に裏打ちされた「グローバル化に対応できる心身共に健全な人間」教育の実現を目指す「KSU基盤教育」では、「基礎教育科目」と「外国語科目」で構成された全学共通の授業科目を受講することにより、学びの“土台づくり”を図ります。

基礎教育科目

国語、数学、歴史、憲法、政治、スポーツ科学など、社会で生きていくうえで必要な幅広い教養と豊かな人間性を身に付けます。

■文理芸融合科目「クロス科目」「コラボ科目」

時代に即した教養を身に付け基礎を固める「KSU基盤教育」に、2022年度から新たに、総合大学としての特色を生かした文理芸融合科目「クロス科目(学部横断型授業)」と「コラボ科目(学部協力型授業)」を設置しました。

「クロス科目」では、学部の垣根を越えて集まった学生が交差(クロス)して、女性活躍や起業支援などの社会課題解決に取り組む演習科目を中心に展開します。また「コラボ科目」では、SDGsやダイバーシティなどのテーマに基づいて、さまざまな学部の教員が協働(コラボ)しオムニバス形式で授業を行うことで、文理芸の多様な視点を身に付けます。

●クロス科目

「実践クロス講座(女性活躍講座)」

市長や代表取締役社長、エッセイストを含む産業界などの第一線で活躍する女性を講師に迎え、多彩なキャリアを通して学生の将来のロールモデルとする授業です。



●コラボ科目

「実践コラボ演習(SDGs)」

ごみのない地域づくりや再生可能エネルギー開発、デジタル社会における美術・デザイン表現の役割などに関する事例を通して、「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」についての理解を深め、持続可能な社会の実現に向けて考察します。



外国語科目

グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、英語科目を中心に、日常会話からビジネスシーンまで幅広い語学力の習得を目指します。

■グローバル化に対応した広い視野の国際感覚を養う

英語、韓国語、中国語、ドイツ語、フランス語を学ぶことができ、「あいさつと簡単な日常会話」から「仕事上での意思疎通が可能なレベル」まで幅広い運用能力の修得を目的としています。

また、留学生はレベル別の少人数クラスで日本語科目を履修し、日本での就職に必要な日本語能力の修得を目指します。

■グローバル・イングリッシュプログラム

外国人講師を多用した少人数クラスで自分のレベルに合った英語の授業を受講していきます。

■キャリアイングリッシュプログラム

ビジネス現場で即戦力となる英語力を磨くプログラム。TOEIC600点以上の得点を目標に「読む・書く・聞く・話す」の4つのスキルを高めます。

■KSU(国内・海外ジョブトレーニング)

キャリアイングリッシュプログラムの所定の成績を修めた学生を対象に語学研修とインターンシップを行っています。

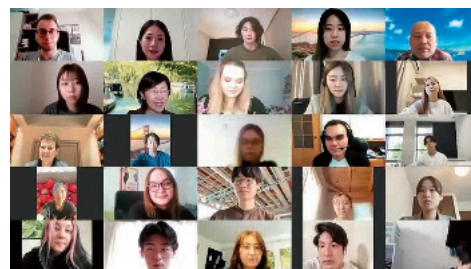


グローバル教育

グローバル社会で活躍する人材の育成を目的に、世界とのつながりを通して国際感覚を養う海外経験プログラムを実施しています。

■「グローバル・リーダーシップ・プログラム (Global Leadership Program : GLP)」

社会のグローバル化に対応できる幅広い視野を持ち、国際社会の最前線で活躍できる人材の育成を目的に、2020年度からスタートした全学部横断型特別教育プログラムです。国際的課題に強い興味を持ち、高い英語力と意欲を備えた学生を対象に、国連ハビタット福岡本部や海外在住のゲストスピーカーによるセッションなどを通して、世界で活躍するために必要な実践力やリーダーシップを養います。



■「Stanford e-KyuSan-U」 スタンフォード大学SPICEとの連携教育プログラム

スタンフォード大学SPICEが展開する多文化理解オンラインプログラムを本学向けにアレンジし、本学独自の全学横断型グローバル人材育成教育である「グローバル・リーダーシップ・プログラム (GLP)」に組み込み開講します。スタンフォード大学SPICE担当講師や九州・福岡にゆかりのあるゲストスピーカーが、「多様性 (Diversity)」「持続可能性 (Sustainability)」「起業家精神 (Entrepreneurship)」の3つのテーマについて、英語でオンライン授業を実施します。受講生の優秀者には、SPICEより認定修了証が授与されます。また、米国シリコンバレーで実施される社会イノベーション研修 (ESI) への参加資格を得ることができます。



■「KSU-COIL型教育」

文理芸の特色を生かした本学独自の「KSU-COIL型教育」を策定し、特色あるグローバル教育の一環として推進しています。このオンライン国際協働学習 (COIL: Collaborative Online International Learning) は、ICTを活用して海外の大学と双方向で実施するもので、新たな形の国際交流として注目されています。

言語・異文化交流型COIL

海外の学生との交流を通して、言語能力や異文化理解の向上を目指すプログラム。

専門重視型COIL

専門分野での交流を通して、問題発見力や課題解決力の向上を目指すプログラム。

留学事前学習型COIL

事前に海外の学生と交流し、現地でのスムーズな活動を促進するプログラム。

KSUプロジェクト型教育

実社会の“現場”を学びの舞台とし、地域や企業、行政と連携してプロジェクトを立ち上げ取り組むことで、「実践力」「共創力」「統率力」などさまざまな力を養う教育プログラムです。学部・学科の枠を超え、産学官連携による商品開発やプロモーション、技術開発、イベント開催など、106のプロジェクトを展開しています。

■実践力

変化の連続で予測がつかない時代を生き抜くために必要なのは、“現場での実体験”です。現場の声を聞き現場で動くという経験を通して、**実践力**を培います。

■共創力

地球規模でモノや情報をやり取りする時代。多彩なコラボレーションを通して、異なる価値観を持つ人々と出会い刺激し合うことで、互いの力を生かす**共創力**を身に付けます。

■統率力

さまざまなメンバーで構成するプロジェクトチームの活動を通して、目標を明確に示して仲間を結集しプロジェクトを成功に導く、**統率力**を養います。



ICTを活用した 地域公共交通の運行管理支援

地域公共交通のDXの活動として、利用動向などを把握するためのデータ収集や分析をするシステムを開発するプロジェクト。昨年度は、須恵町や宗像市との連携において、車内案内表示システムの改良や主要停留所付近に設置するデジタルサイネージ機能などを開発しました。



コロナ禍でも開催できる 市民参加型運動会： 産九スポーツ

学生が地域の子どもたちや住民の皆さまのストレス発散の機会と親交を図るきっかけを作りたいと企画・運営を行うプロジェクト。コロナ禍でも参加できるように工夫をして、参加者の方々が安全かつ楽しく体を動かす機会と参加者同士の親交を深める機会を創りました。

学びの舞台は実社会の「現場」



人々の健康的な生活と 快適性のための 避難場所の居住環境調査

災害時には地域の方々の避難施設となる本学の大楠アリーナにて「段ボールベッドの寝心地を評価する実験」を実施するプロジェクト。利用者の心理状態・生理反応や環境物理のデータから、寝心地を定量把握しました。

SEA you again プロジェクト

潮流の影響により漂着物が集まりやすいという課題を抱える長崎県五島列島の小値賀島に流れ着く「海洋プラスチックごみ」を商品としてアップサイクルするプロジェクト。海洋プラごみ製の石鹸ケース「mu」やブローチを開発しました。



福岡サンタウォーク プロジェクト

病気に立ち向かう子どもたちを応援する地域密着プロジェクト。地域のひとたちとサンタクロースの衣装で街を練り歩き、病気に立ち向かう子どもたちにクリスマスプレゼントを贈る地域密着型チャリティーイベント。イベントの益金は「療養環境整備基金」寄付金として福岡市立こども病院に届けました。

キャリア教育

就職決定率99.3%の就職力！

「企業人事から見たイメージが良い大学」※で1位に選ばれた実績を持つ、本学独自のキャリア教育。全学部の学生が履修可能な教育プログラムや充実のサポート体制、就職意欲を後押しする施設の整備により、学生へのきめ細かな支援を行っています。

※九州・沖縄・山口地区の私立大学(2018年版)

教育

就職テクニックのみに重点を置いた従来型の教育ではなく、実社会を力強く生き抜くための徹底した実学教育です。2,400人以上が受講できるカリキュラムは全国的にも例がなく、1年次から3年次までを通して、自らの位置を知り、先を予測し、指針となる教養を得ることを目指します。

1年次

過去30年にわたる社会の変化を学ぶ

「キャリア形成基礎論」



2年次

各業界で活躍する企業人の生の声を聴く

「キャリア開発論」



3年次

就職活動の考え方や技術を徹底的に学ぶ

「キャリア形成戦略」



サポート体制

企業研究や自己分析などの重要性を学ぶ「就職ガイダンス」や、多くの企業が参加する「企業説明会」などの多彩な支援行事に加え、各学部に専任の担当者を配置し個別面談を行うなど、学生一人ひとりに応じた支援を行っています。

多彩な支援行事

就職ガイダンス

就職サイト登録会から企業研究・自己分析の方法、履歴書作成、面接練習まで、年間を通じて就職活動に必要な情報を提供しています。



企業説明会

採用意欲が高い企業の人事担当者から直接説明を聞くことができる貴重な場です。理工系や芸術系、留学生対象の説明会も実施しています。



資格取得講座・公務員受験対策講座

就職、情報、語学関連の各種資格取得講座のほか、公務員受験対策講座など、学生のスキルアップを応援する講座を開講しています。

筆記試験・Webテスト対策

採用試験で実施されるSPIやWebテストの対策として、模擬試験を実施しています。傾向と対策を練り、現在の自分のレベルを測ることができます。

一人ひとりに応じた個別支援

個別面談

就職活動に関する不安や悩みを相談できる個別面談。就職希望者との面談率は99.1%を達成しており、元企業の採用担当者やカウンセラーの資格を有するスタッフなどが、それぞれの悩みに丁寧に応じます。



ジュニア・アドバイザー制度

早期に就職が内定した4年生が、就職活動に取り組む後輩たちに、自身の経験に基づきアドバイスをを行います。



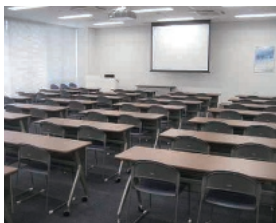
キャリア支援センター

将来の進路や就職活動に関するあらゆる疑問に応え、希望する進路に進めるよう支援する就職活動専用の施設が、キャリア支援センターです。他大学には無いさまざまな設備を備え、学生へのきめ細かなサポートを行っています。



① セミナールーム

プロジェクターを完備した教室で、ガイダンスや企業説明会など、さまざまな支援行事を開催しています。



② 面接室

模擬面接のための部屋で、練習を2台のカメラで記録し、その場ですぐに確認することもできます。



③ マナートレーニングルーム

就職活動において重要な、自然で美しい立ち居振る舞いや正しい歩き方を練習する部屋です。



④ メイクコーナー

プロのビューティー・アドバイザーが就職活動に適したナチュラルメイクの方法を実演指導します。



⑤ カウンセリングルーム

キャリアカウンセラーが常駐しており、個別相談や模擬面接で使用しています。WEB面接を受けることもできます。



⑥ 資料コーナー

求人票や企業パンフレット、公務員受験案内、内定報告書、新聞各紙などを掲示・設置しています。



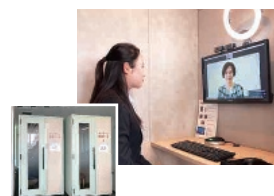
⑦ パソコンコーナー

パソコン30台とプリンター、コピー機を設置しています。インターネットやメールも利用できます。



⑧ オンライン専用個室ブース

就職活動のオンライン化に対応するため、パソコンやカメラ、スピーカーなどを常設しています。



研究

充実した施設と最新の設備が揃うキャンパスでは、常に新たな教育・研究活動を行っています。

生命科学部×食品開発ラボ×食品加工プラント

Major 1 Research

食品加工機器を揃えた ミニチュア食品工場で 商品を開発

製麺機やレトルト殺菌機など、企業で使用されている食品加工機器を揃えたミニチュア食品工場です。小麦製品や乳製品、レトルト食品など、量産試作レベルの食品製造が可能な、九州の大学では唯一の施設です。学生サークル「食品開発研究会」が手掛けた「イチゴ練乳ジャム」や「柚子アイス」、「ユズチョコ」、「食べるネギ油」もここで生まれました。

食品工場に即した製造加工の過程を実習しながら、品質管理やコスト計算などを実践的に学びます。



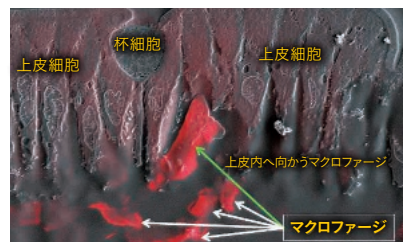
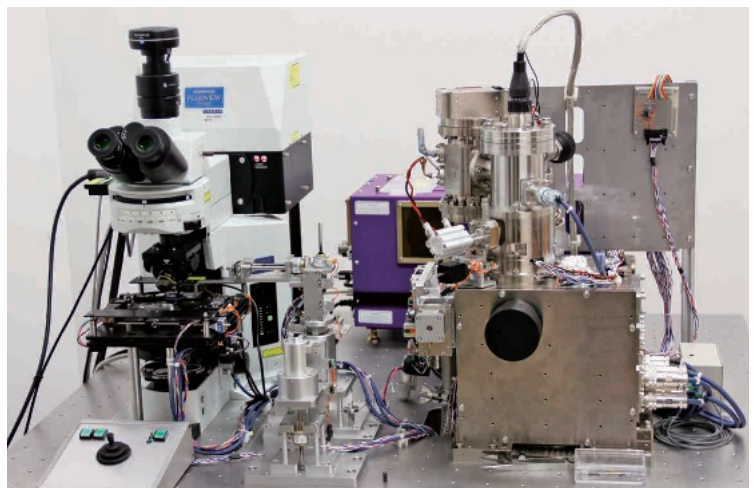
生命科学部×医療診断技術開発センター

Major 2 Research

新規蛍光色素を 基盤とした革新的 医療診断技術の実用化

学内外の研究者や企業と連携し、新たな診断技術の研究を進めています。2016年には、低有効倍率ながらカラー画像が得られる光学式顕微鏡と、高倍率でもモノクロ画像しか撮影できない走査型電子顕微鏡を組み合わせ、世界で初めて7,000倍のカラー画像が撮影できる電子顕微鏡を開発しました。

現在は、国産初の免疫染色用蛍光色素の性能強化を行うとともに、20,000倍の解像度を持つカラー電子顕微鏡が製品化されています。



商学部×オープンイノベーションセンター・インスペース

Major 3 Research

起業家を育成し 新たなビジネスを創出

在学や卒業生、研究者の起業を支援するための組織「オープンイノベーションセンター・インスペース」を設置し、新たなビジネスの創出に努めています。

センター内には、学生が運営するカフェ「in.out」(インドットアウト)がオープン。共同経営者で障がい者就労支援事業を展開する株式会社カムラックの協力を得て、障がいを持つ人と学生の協働運営を目指しています。また、ロゴや内装のデザインは、建築都市工学部の学生が手掛けています。

本センターは、福岡市の特定創業支援等事業に学校法人として九州で初めて認定されており、経営、財務、販路拡大、人材育成という経営に必要な全ての知識を身に付けることができます。



芸術学部×伝統みらい研究センター×柿右衛門様式窯

Major 4 Research

九州の伝統工芸が抱える 課題を多面的に研究し 地域産業の活性化に貢献

有田焼の柿右衛門様式磁器に関する研究を行い、その研究成果を教育活動に反映するとともに、地域産業活性化のための調査やマーケティング、デザイン、商品戦略などの支援を行います。

大学院芸術研究科教授だった故・十四代酒井田柿右衛門氏が設置した「柿右衛門様式窯」では、学生たちが制作した作品を取り出す窯開きを毎年行っており、地域に開かれた大学としてのシンボルにもなっています。



国際交流

300人以上の留学生がキャンパスで学び、授業やサークル活動を通して日本人学生と積極的に交流しています。海外10カ国・地域の24の大学と国際交流協定を結んでおり、協定に基づき、毎年約100名の学生を海外の大学に派遣するとともに、約140名の留学生を受け入れています。

国際交流協定校 ★は派遣留学先大学



派遣留学

留学期間中は本学の修業年限に算入し、留学先で修得した単位は本学で在籍する学部の基準に従って、卒業単位に認定します。また、奨学金制度などの本学独自の留学サポート体制が整っています。

対象学部	派遣先大学名	国名	都市	人数枠	奨学金
国際文化学部 人間科学部 経済学部 商学部 地域共創学部	アビリン・クリスチャン大学	アメリカ	テキサス州アビリン市	4	40万円
	リーズ・ベケット大	イギリス	リーズ市		
	リール・カトリック大	フランス	リール市	2	
	中国人民大	中国	北京市	2	
	東国大校	韓国	釜山広域市	2	20万円
	東亜大校		ソウル特別市	2	
培材大校	大田広域市		2		
芸術学部	シュトゥットガルト造形美術大	ドイツ	シュトゥットガルト市	1	40万円
	ボルドー美術学校(※隔年実施)	フランス	ボルドー市	1	30万円

国際交流センター

諸外国の大学などとの教員・学生間交流、交換留学、留学支援・相談、外国人留学生の教育や生活支援、国際交流事業などの推進に取り組んでいます。



地域連携

地域に信頼され、社会に役立つ大学を目指し、企業・自治体との連携を推進しています。

長崎県とUIターン就職支援に関する連携協定を締結

長崎県の産業の次代を担う人材の育成・確保と地域の活性化を図るため、長崎県と相互に連携し同県へのUIターン就職を促進することに合意し、UIターン就職支援に関する連携協定を締結しました。

本学学生に向けて長崎県が運営する県内企業就職支援制度の案内を促進するとともに、学内でも長崎県内企業による就職相談会の実施や、学生と長崎県内企業との多様な接点を創出するため、長崎県内への企業研究ツアーの実施やインターンシップ受入先の拡大により、学生と長崎県内企業とのマッチングを推進します。



福岡信用金庫と包括連携協定を締結

地域の課題に迅速かつ適切に対応するとともに、人材育成と活力ある地域社会の形成と発展に協力して取り組むことを目的に、福岡信用金庫と包括連携協定を締結しました。

福岡信用金庫顧客企業の課題解決に協力して取り組むほか、学生インターンシップ受け入れ企業の紹介や学生の起業相談などを行い、地域経済の活性化と地域経済を担う人材の育成を推進します。



QTnetと包括連携協定に基づき共同研究を推進

本学の教育研究の成果と、株式会社QTnetのデジタル化や情報通信に関する技術・ノウハウを相互に活用し、新たなサービスの創出や地域社会を担う人材の育成を目的に、包括連携協定を締結しました。

本学キャンパスに独立したローカル5Gネットワークを構築し、外部ネットワークの制限を受けない5G環境において、「超高速」「超低遅延」「多数同時接続」という5Gの特長を生かした新たな利用方法などの研究を進めています。



奨学金制度

返還不要な本学独自の奨学金制度により、学生を積極的に支援します。

卓越支援

学業をはじめ、さまざまな分野における優秀な学生に対する支援制度です。

中村治四郎奨学金

学業、学術文化に分類し、優秀な1年次生を対象に支給します。

■学業特待枠

- ・年間授業料相当額4年間給付(最大20人)
- ・年間授業料相当額1年間給付(最大20人)
- ・年間授業料の半額相当額1年間給付(最大80人)

■学術・文化特待枠

- ・年間授業料相当額1年間給付(最大20人)

■学業特待枠

- ・30万円を2年間給付(4人)
- ・30万円を1年間給付(8人)

造形短期大学部

成績優秀者奨学金

前年度の学業成績が優秀な2年次以上の学生を対象に給付します。

- ・年間60万円給付(各学年約40人)
- ・年間30万円給付(各学年約40人)
- ・年間20万円給付(各学年約40人)

造形短期大学部

上野拓記念奨学金

故・上野拓九産大工学部教授の教育理念を顕彰するために、上野家からの寄付金を奨学金とし、理工系3学部の優秀な3・4年次生を対象に、24万円(年額)を支給します。(※大学のみ)

経済支援

経済的に修学が困難な学生に対する支援制度です。

遠隔地学生予約型奨学金

福岡県外に家族が居住し、入学後、自宅外から通学予定の1年次生を対象に、36万円(年額)を支給します。



災害時奨学金

自然災害などで被災した学生の被害状況により、修学費の一部を減免します。

育成支援

在学中の正課・正課外活動において頑張る学生に対する支援制度です。

語学実践研修奨励金

英語教育における優秀な学生を対象に、最大40万円を支給します。(※大学のみ)

就職活動奨励金

就職活動時の旅費として、最大2.5万円を給付します。

キャリア・アップ支援奨励金

資格取得に向けた学修意欲が高い学生を対象に、最大5万円を給付します。

KSU海外経験プログラム

個人留学支援制度を活用した学生や在外研修を含む学部カリキュラムに参加した学生に対し、プログラム費用の一部を補助します。



留学生支援

外国人留学生に関する全般的な支援制度です。

外国人優秀学生奨学金

学修意欲が高く、優秀な私費外国人留学生に対し、36万円(年額)を支給します。(※大学のみ)

外国人留学生授業料減免

学修意欲が高く、経済的に困窮した私費外国人留学生に対し、授業料の30%相当額を減免します。なお、学部2年次以上で学業成績優秀と認められた者には、減免額にインセンティブを与えます。



同窓会の奨学金

同窓会楠風会奨学金

学生生活における向上意欲などが認められた日本人学生(3・4年次生35人)と外国人留学生(2~4年次生8人)に24万円(年額)を支給します。

※支給にあたっては、入学試験を含めた成績上位者や対象年次、受給期間などの要件があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

高等教育の修学支援制度

国による「高等教育の修学支援制度」では、世帯収入や資産の要件を満たしている学生を対象に、給付奨学金(日本学生支援機構)と併せて授業料・入学金減免が受けられます。

授業料・入学金の減免



給付型奨学金の支給

※申込要件の詳細(学力・家計等)や支給額等については、文部科学省ホームページにて確認してください。

※大学に進学予定の方は、進学する前から申請することができます。

サークル活動

105のサークルと愛好会があり、学術・文化・スポーツの各方面で精力的に活動しています。仲間と同じ目標に向かって取り組むことで、刺激し合いながら豊かな人間関係を築いています。



体育会、学術文化会など

105

サークルが活動しています。

学友会執行部5 / 体育会34
学術文化会23 / 任意団体(愛好会)43



学友会執行部 5団体

- 総務委員会
- 代議員会事務局
- 大学祭常任中央実行委員会
- 学術文化執行委員会
- 体育会執行部
- 体育会執行部応援リーダー隊
- 体育会執行部チアリーダー

体育会系サークル 34団体

- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- 軟式野球同好会
- ソフトボール部
- ハンドボール部(女子)
- ハンドボール部(男子)
- バレーボール部(女子)
- バレーボール部(男子)
- バスケットボール部(女子)
- バスケットボール部(男子)
- ラグビー部(女子)
- ラグビー部(男子)
- アメリカンフットボール部
- サッカー部
- アイスホッケー部
- ゴルフ部
- ソフトテニス部
- 硬式庭球部
- バドミントン部
- 卓球部
- アーチェリー部
- 弓道部
- 空手道部
- 空手道拳誠館同好会
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- ボクシング部
- 中国武術部
- 剣道部
- ウェイトトレーニング部
- 山岳部(登山)
- 山岳部(スポーツクライミング)
- ワンダーフォーゲル部
- 陸上競技部
- 水泳部(競泳)
- 水泳部(フィンスイミング)
- ヨット部
- ライフセービング同好会
- 自動車部
- 吹奏楽団部

学術文化会サークル 23団体

- デジタルアート部
- 美術部
- 電気工学研究部
- 写真部
- 茶道部
- 裏千家茶道部
- 放送研究部
- 映画研究部
- 旅行研究部
- 文芸部
- 競技ダンス部
- ストリートダンス同好会Chicken
- プロレス研究部
- 漫画研究部
- 管弦楽団同好会
- 音楽部
- タクキージャズオーケストラ
- アコースティックギター同好会
- グリークラブ
- 演劇研究部
- ワークキャンプ同好会
- 九産大ぼうけん王同好会
- 会計学研究部

※2023年8月1日現在

施設



オープンイノベーションセンター

学生×企業×地域のコラボレーションを促進

大学発ベンチャーへの取り組みの一環として、学生と企業、地域とのコラボレーションの促進や学生の起業を支援するための機関です。熱意を持ったユニークな学生と卒業生や研究者、企業や地域とを連携させ、社会課題を解決する新たなビジネスと起業家を同時に創出します。



産業経営研究所

地域の産業経済の構造や経営行動を調査研究

急変する地域の産業経済の構造や、経営行動の諸状況・実態を調査研究する機関です。九州を中心に、東アジアを含めた広い地域を調査研究の対象とし、研究成果を社会へフィードバックするために機関誌「産業経営研究所報」を発刊しています。



総合機器センター

質の高い研究を支える設備・機器を完備

高性能な分析機器や測定機器を完備し、理工系を中心とした大学の教育研究を支えています。九州地区では希少な最新装置もあり、他大学や企業など外部からの利用も可能です。



景観研究センター

文化的景観の形成と保全について研究

北部九州の窯業に注目し、地域の人々の生活や生業と風土との相互作用により形成された文化的景観を生み出す要件を探究します。現代の窯業と文化的景観の保全・活性化の方策を明らかにし、そのための技術開発を行います。



臨床心理センター

心の健康を支援する、地域に開かれた施設

心のケアを目的とした、さまざまな機能を持つ施設です。臨床心理士の資格を持つ教員を中心としたスタッフが運営し、個人カウンセリングやワークショップ、セミナーなどを開催しています。また、本学大学院生の研修施設も兼ねています。



大楠アリーナ2020

地域に根ざし、成長し続け、交流を育む^{まなび}学美の丘の大樹アリーナ

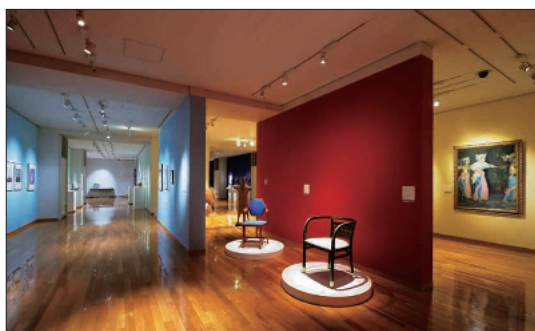
地上3階建てのスポーツ複合施設です。バスケットボールコート4面が設置可能な西日本最大級のメインアリーナでは、参加者全員が一堂に会して入学式や学位授与式などを開催できます。また、スポーツ多目的室や1周278メートルのランニングコース、最新のトレーニングルームなどを完備しています。



屋内プール

「泳ぐ」を科学し、「活力ある人材」を育てる大学と地域のスイミングプール

選手の育成や学生の授業などに使用するプールの他に、幼児からシニアまで、地域の方にも利用できるプールを備えています。併設したホットヨガスタジオやレッススタジオでの無料体験も実施しており、地域の健康維持やコミュニケーションの場として活用されています。



美術館

1,000点を超える所蔵品を有する九州初の大学美術館

九州で初めての大学美術館として、2002年に開館しました。絵画をはじめ、彫刻や版画、デザイン、写真など、幅広いジャンルのアート作品を1,000点以上所蔵しています。年間を通じてさまざまな展覧会を開催するとともに、地域の方々を対象としたワークショップなどを実施し、地域の文化芸術振興に努めています。



図書館

80万冊を超える蔵書を誇る総合図書館

約80万冊の書籍のほか、各分野の専門雑誌、DVDなどの視聴覚資料、電子出版物などを収蔵しています。学部ごとのシラバスに掲載されている教科書なども用意。図書館のホームページでは、スマートフォンからの蔵書検索が可能です。



グローバルプラザ

外国人留学生と日本人学生の交流拠点

留学相談ができる留学促進コーナーのほか、語学相談コーナー、日本人学生と外国人留学生が交流できる談話コーナーなどを設けています。また、さまざまな国際交流イベントを実施しています。

好奇心を全開にする1年目。
夢の実現へ、のめり込む2年目。



「1学科3領域10系列」の学び

基礎教育科目、外国語科目、専門科目を学ぶことにより、社会人になるための知識や教養を身に付けるとともに、創造力や表現力を養います。また、自分の適性や目的に合わせて選択できる「1学科3領域10系列」の多彩なカリキュラムで、学びの幅が広がります。

芸術表現領域



絵画系

油彩を中心とした絵画を基礎から学び、卒業研究では100号の大作に挑むことも可能です。



立体造形系

彫刻を中心に学び、多彩な科目と組み合わせていくことで、可能性を大きく広げます。



写真系

写真芸術の様々な表現様式、美学的概念を研究し、知識と技術を習得します。

ビジュアルデザイン領域



グラフィックデザイン系

デザイン力の向上を主眼とし、円滑なビジュアルコミュニケーションについて基礎から総合的に学びます。



アニメーション・映像系

アニメーションや実写を利用した時系列展開について基本的理解を深め、多彩なアプローチから映像作品を制作します。



イラストレーション系

柔軟な発想力や感覚を磨き、多岐にわたってイラストレーションやマンガを学び、作品の制作力と技法を習得します。

生活環境デザイン領域



インテリアデザイン系

住宅・集合住宅、公共施設・商業施設の設計、町並みの計画などを通して、人・もの・空間の相互関係を学びます。



プロダクトデザイン系

現代および未来の生活に寄与する製品を企画・設計・提案する知識と技術を習得し、問題解決力や物の価値を見極める力を育みます。



ファッションデザイン系

学生がもつ感性を引き出し、磨き、近い将来ファッションビジネスにつなげるために必要な知識と技術を身につけます。



陶芸系

陶芸系では、その伝統を受けつぎながら、現代を生きる私たちの生活に豊かな彩りをあたえる焼きものの作りを目指します。

施設

学びへの好奇心や向上心に応える、充実した施設と最新の設備を揃えています。



映像実習室・録音室



陶芸実習室



デザイン書道実習室



写真スタジオ



絵画実習室



木彫実習室

地域連携プロジェクト

地域や企業と連携したプロジェクトで、造形表現の学びを通じた社会とのつながりを実践的に学修します。

須恵町アートプロジェクト

糟屋郡須恵町と連携して行うプロジェクト。久我記念館の入り口の階段に町のシンボルをテーマとした鮮やかなデザインの階段絵を完成させ、階段横の壁や地面にも巨大トリックアートを描きました。



ランドセル+αプロジェクト

NPO法人次世代のチカラFUKUOKAが取り組む、中古ランドセルを次に必要とする人に受け渡すランドセルバンクの活動を応援するプロジェクト。学生がランドセルカバーを制作するワークショップを企画し、ランドセル譲渡をするイベントを開催しました。



編入学制度

卒業後もさらに学びたい学生の意欲に応えるため、九州産業大学との大学間連携協定により、九産大3年次編入学希望者には大学の講義を履修できる「先取り履修制度」を設けています。また、造形短期大学部と九産大の学生が互いの授業を履修できる「単位互換制度」で、より専門的な学びを実現します。

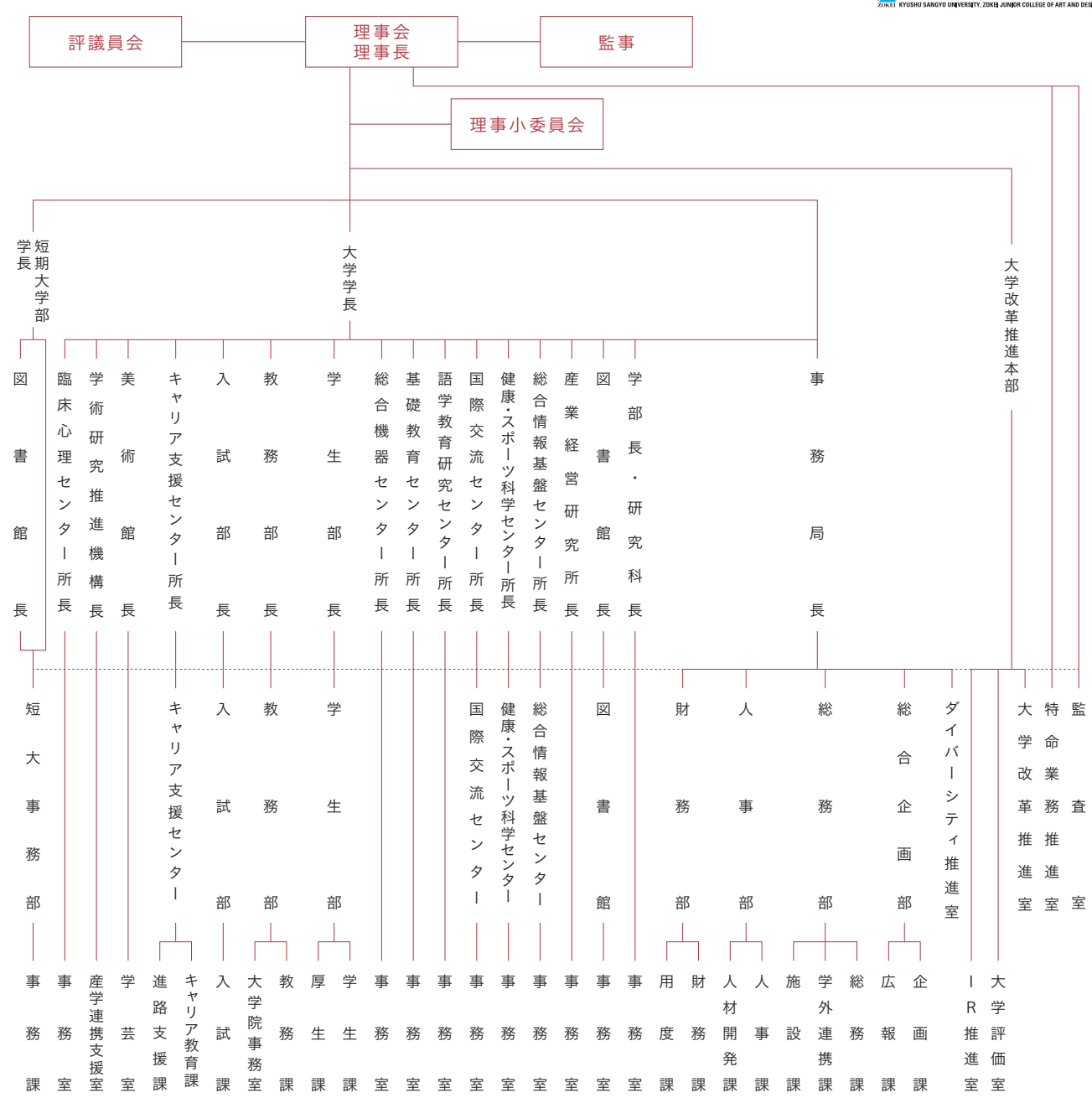
沿革

- 1960年 商学部商学科の単科大学として、九州商科大学開学
- 1963年 大学名を九州商科大学から九州産業大学に改称。工学部設置
- 1964年 商学部第二部(経済学科、商学科)設置
- 1966年 芸術学部設置
- 1968年 経営学部設置
- 1973年 大学院工学研究科設置
- 1974年 大学院芸術研究科設置
- 1975年 大学院経済学研究科設置
- 1993年 経済学部設置
- 1994年 国際文化学部、大学院経営学研究科設置
- 1996年 大学院商学研究科設置
- 1998年 大学院国際文化研究科設置
- 2002年 情報科学部設置
- 2004年 大学院情報科学研究科設置
- 2009年 大学院経済・ビジネス研究科設置
- 2016年 芸術学部を芸術表現学科、写真・映像メディア学科、ビジュアルデザイン学科、生活環境デザイン学科、ソーシャルデザイン学科に改組。
九州造形短期大学の校舎を九州産業大学キャンパス内に移転
- 2017年 情報科学部と工学部を理工学部(情報科学科、機械工学科、電気工学科)、生命科学部(生命科学科)、建築都市工学部(建築学科、住居・インテリア学科、都市デザイン工学科)に改組。
九州造形短期大学を九州産業大学造形短期大学部に名称変更
- 2018年 人間科学部(臨床心理学科、子ども教育学科、スポーツ健康科学科)設置。
商学部と経営学部を商学部(経営・流通学科)、地域共創学部(観光学科、地域づくり学科)に改組

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY HISTORY



学校法人中村産業学園 事務組織図



注 点線は、事務上の連絡調整及び職員の仕事の統括を表す。

九州産業大学校歌

中村治四郎作詞
森脇 憲三作曲

一、(建学の意気)
荒波ほゆる玄海の
沙風よする丘の上
誇りも高く眼もしるく
東の空にきらめきて
巖然浮かぶ明星は
これぞ九州産業大学
輝かせ 輝かせ文化の光

二、(建学の理想)
立花山の霧晴れて
朝日におう楠の木
生氣あふるゝ新緑に
産学一如の大理想
炎の如く燃えさかる
これぞ九州産業大学
輝かせ 輝かせ理想の光

三、(建学の道義)
世界をおおう乱雲を
道義に照らし晴らすこそ
若く雄々しき我が使命
中道よしや遠くとも
破邪顕正に勇み立つ
これぞ九州産業大学
輝かせ 輝かせ道義の光

令和5年度 役員等 (令和5年6月16日現在)

九州産業大学 役職者

職名	氏名
学長	北島 己佐吉
副学長	千 相哲
経済学部長	萱沼 美香
商学部長	高木 昇
地域共創学部長	石川 泰成
理工学部長	牛見 宣博
生命科学部長	金田 弘挙
建築都市工学部長	林 泰弘
芸術学部長	栗田 融
国際文化学部長	三浦 香織
人間科学部長	鐘ヶ江 淳一
大学院経済・ビジネス研究科長	安 熙卓
大学院工学研究科長	内田 泰三
大学院芸術研究科長	井上 貢一
大学院国際文化研究科長	稲田 尚史
大学院情報科学研究科長	下川 俊彦
学生部長	百瀬 俊哉
教務部長	松原 岳行
入試部長	加藤 要一
キャリア支援センター所長	小泉 隆
図書館長(兼)造形短期大学部図書館長	西村 香織
産業経営研究所長	宗像 優
総合情報基盤センター所長	田中 康一郎
健康・スポーツ科学センター所長	奥村 浩正
国際交流センター所長	三枝 孝司
語学教育研究センター所長	大藪 修一
基礎教育センター所長	鶴田 和寛
美術館長	大日方 欣一
学術研究推進機構長	赤坂 亮
学術研究推進機構副機構長	安 熙卓
総合機器センター所長	中山 素一
大学院附属臨床心理センター所長	久保田 進也

九州産業大学造形短期大学部 役職者

職名	氏名
学長	小田部 黄太

中村産業学園 役職者

職名	氏名	
理事	理事長	津上 賢治
	理事(大学長)	北島 己佐吉
	理事(造形短期大学部学長)	小田部 黄太
	理事(常務)	磯村 昌輝
	理事(常務)	藤原 敦
	理事(常務)	柗田 勝司
	理事(学外)	吉田 泰彦
	理事(学外)	道永 幸典
	理事(学外)	青柳 俊彦
	理事(学外)	堀江 広重
	理事	千 相哲
	理事	牛見 宣博
	理事	栗田 融
	理事	三浦 香織
	理事	鐘ヶ江 淳一
監事	監事(常勤)	岩田 英治
	監事(常勤)	田邊 達也
	監事	相場 公博
評議員	評議員	北島 己佐吉
	評議員	小田部 黄太
	評議員	千 相哲
	評議員	萱沼 美香
	評議員	高木 昇
	評議員	牛見 宣博
	評議員	林 泰弘
	評議員	栗田 融
	評議員	三浦 香織
	評議員	鐘ヶ江 淳一
	評議員	高原 浩之
	評議員	横田 治
	評議員	山崎 一郎
	評議員	入江 崇彦
	評議員	道法 辰文
	評議員	坂本 二美
	評議員	松岡 順子
	評議員	宝満 教代
	評議員	横田 覚
	評議員	國武 芳和
	評議員	津上 賢治
	評議員	吉田 泰彦
	評議員	道永 幸典
	評議員	青柳 俊彦
	評議員	堀江 広重
	評議員	磯村 昌輝
評議員	藤原 敦	
評議員	柗田 勝司	
評議員	佐藤 尚文	
評議員	矢頭 美世子	
評議員	河内 美香	
評議員	中村 治	
評議員	組坂 法人	

[資料編]九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部

学生数 (令和5年5月1日現在)

学部学生数

(単位:人)

学部	学科(コース)	総合計		
		男性	女性	合計
国際文化学部	国際文化学科	149	181	330
	日本文化学科	115	120	235
	臨床心理学科	1	0	1
	小計	265	301	566
人間科学部	臨床心理学科	119	177	296
	子ども教育学科	103	222	325
	スポーツ健康科学科	245	89	334
	小計	467	488	955
経済学部	経済学科	1,368	215	1,583
	小計	1,368	215	1,583
商学部	経営・流通学科	1,480	595	2,075
	小計	1,480	595	2,075
地域共創学部	観光学科	260	319	579
	地域づくり学科	376	136	512
	地域づくり学科(夜間特別枠)	21	0	21
	小計	657	455	1,112
理工学部	情報科学科	545	58	603
	機械工学科	432	15	447
	電気工学科	355	13	368
	小計	1,332	86	1,418
生命科学部	生命科学科	249	153	402
	小計	249	153	402
建築都市工学部	建築学科	232	67	299
	住居・インテリア学科	135	128	263
	都市デザイン工学科	215	22	237
	小計	582	217	799
芸術学部	芸術表現学科	116	179	295
	写真・映像メディア学科	114	112	226
	ビジュアルデザイン学科	79	243	322
	生活環境デザイン学科	99	142	241
	ソーシャルデザイン学科	74	113	187
小計	482	789	1,271	
経済学部	経済学科(昼間主コース)	4	0	4
	経済学科(夜間主コース)	1	0	1
	小計	5	0	5
商学部第一部	商学科	4	0	4
	小計	4	0	4
経営学部	国際経営学科	0	1	1
	産業経営学科	3	0	3
	小計	3	1	4
大学合計		6,894	3,300	10,194

造形短期大学部学生数

(単位:人)

学部	学科	男性	女性	合計
造形短期大学部	造形芸術学科	83	210	293

大学院学生数

(単位:人)

課程	研究科	専攻	総合計		
			男性	女性	合計
博士前期課程	国際文化研究科	国際文化専攻	9	20	29
		経済・ビジネス研究科	5	1	6
	情報科学研究科	3	2	5	
	工学研究科	5	3	8	
	芸術研究科	13	9	22	
	小計	25	20	45	
博士後期課程	国際文化研究科	国際文化専攻	8	1	9
		経済・ビジネス研究科	2	4	6
	情報科学研究科	0	0	0	
	工学研究科	3	1	4	
	芸術研究科	5	6	11	
小計	18	12	30		
大学院合計		78	67	145	

※情報科学研究科博士前期課程の2年次学生数には、令和3年9月入学者1名を含む。
 ※国際文化研究科博士後期課程の2年次学生数には、令和3年9月入学者1名を含む。
 ※芸術研究科博士後期課程の2年次学生数には、令和3年9月入学者1名を含む。

留学生数 (令和5年5月1日現在)

学部留学生数

(単位:人)

学部	学科	合計		
		男	女	計
国際文化学部	国際文化学科	5	7	12
	日本文化学科	12	5	17
	小計	17	12	29
人間科学部	臨床心理学科	0	1	1
	子ども教育学科	0	0	0
	スポーツ健康科学科	0	1	1
	小計	0	2	2
経済学部	経済学科	12	5	17
	小計	12	5	17
商学部	経営・流通学科	62	37	99
	小計	62	37	99
地域共創学部	観光学科	16	12	28
	地域づくり学科	0	0	0
	小計	16	12	28
理工学部	情報科学科	14	1	15
	機械工学科	11	1	12
	電気工学科	7	0	7
	小計	32	2	34
生命科学部	生命科学科	6	1	7
	小計	6	1	7
建築都市工学部	建築学科	1	0	1
	住居・インテリア学科	0	1	1
	都市デザイン工学科	0	0	0
	小計	1	1	2
芸術学部	芸術表現学科	3	0	3
	写真・映像メディア学科	9	3	12
	ビジュアルデザイン学科	0	1	1
	生活環境デザイン学科	1	2	3
	ソーシャルデザイン学科	1	1	2
小計	14	7	21	
経営学部	国際経営学科	0	1	1
	産業経営学科	0	0	0
	小計	0	1	1
合計		160	80	240

大学院留学生数

(単位:人)

研究科	専攻	博士前期課程		博士後期課程		合計				
		男	女	男	女	男	女			
国際文化研究科	国際文化専攻	2	4	6	1	0	1	3	4	7
	経済学専攻	2	0	2	0	0	0	2	0	2
経済・ビジネス研究科	現代ビジネス専攻	1	1	2	0	0	0	1	1	2
	経済・ビジネス専攻	0	0	0	1	1	2	1	1	2
情報科学研究科	情報科学専攻	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	工学研究科	1	2	3	0	0	0	1	2	3
芸術研究科	造形表現専攻	12	7	19	5	6	11	17	13	30
	合計	19	14	33	7	7	14	26	21	47

出身国別留学生数

(単位:人)

出身国 (11カ国・地域)	学部		造形短期大学部		大学院						国別総計							
	男	女	計	計	博士前期課程		博士後期課程		合計		男	女	計					
					男	女	計	男	女	計								
中国	107	28	135	1	1	2	17	13	30	7	7	14	24	20	44	132	49	181
ベトナム	29	42	71	2	1	3	1	0	1	0	0	1	0	1	1	32	43	75
ネパール	11	1	12	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	11	2	13	
韓国	8	3	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	11	
タイ	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
台湾	2	1	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	3	1	4
インド	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
カザフスタン	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
スリランカ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
ナイジェリア	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
マレーシア	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計	160	80	240	3	2	5	19	14	33	7	7	14	26	21	47	189	103	292

留学生数総計

(単位:人)

男	女	合計
189	103	292

入試実績(令和5年度)

志願合格状況(出身校都道府県別)

(単位:人)

■北海道

県名	志願者	合格者	在学学生
北海道	142	30	46

■東北

県名	志願者	合格者	在学学生
青森	1	0	2
岩手	3	1	1
宮城	2	1	1
秋田	2	2	0
山形	0	0	0
福島	4	4	3

■関東

県名	志願者	合格者	在学学生
茨城	13	6	8
栃木	0	0	3
群馬	1	1	0
埼玉	3	1	1
千葉	24	7	6
東京	15	8	8
神奈川	8	6	11

■中部

県名	志願者	合格者	在学学生
新潟	0	0	2
富山	19	6	3
石川	0	0	0
福井	2	2	1
山梨	22	10	9
長野	3	1	3
岐阜	3	1	3
静岡	18	11	19
愛知	9	9	6

■近畿

県名	志願者	合格者	在学学生
三重	2	1	6
滋賀	14	0	1
京都	3	0	0
大阪	11	7	22
兵庫	48	22	25
奈良	17	7	8
和歌山	3	1	2

■中国

県名	志願者	合格者	在学学生
鳥取	33	11	11
島根	55	25	45
岡山	104	45	32
広島	135	67	81
山口	711	271	367

■四国

県名	志願者	合格者	在学学生
徳島	1	1	2
香川	15	10	15
愛媛	51	22	58
高知	9	4	8

■九州・沖縄

県名	志願者	合格者	在学学生
福岡	13,616	5,584	6,510
佐賀	872	472	514
長崎	584	301	459
熊本	564	247	398
大分	522	276	321
宮崎	313	164	304
鹿児島	703	337	435
沖縄	355	124	171

■その他

区分	志願者	合格者	在学学生
大学入学資格検定	47	12	30
外国学校	94	56	233

卒業後の進路(令和4年度実績)

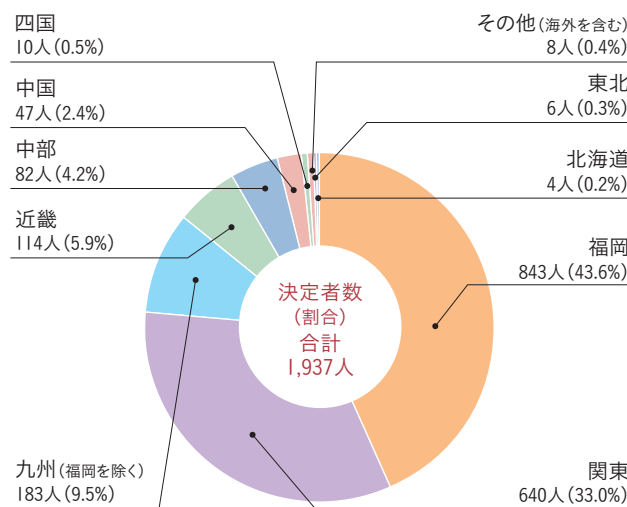
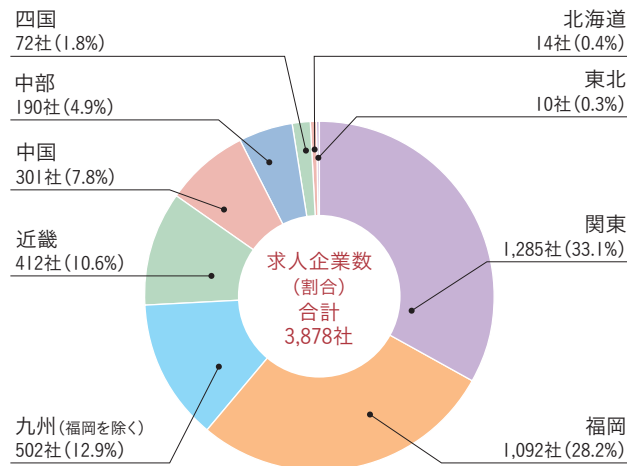
学部別進学・就職決定状況

(単位:人)

学部	進路	卒業者	進学者	就職希望者	就職決定者
国際文化学部		121	3	100	100
人間科学部		210	8	183	183
経済学部		349	1	306	303
商学部		437	5	390	388
地域共創学部		259	1	230	229
商学部第一部		10	0	8	8
経営学部		6	0	3	3
理工学部		313	12	288	287
生命科学部		81	7	71	71
建築都市工学部		170	6	158	158
情報科学部		1	0	0	0
工学部		4	0	3	3
芸術学部		277	14	210	204
合計		2,238	57	1,950	1,937

造形短期大学部	130	16	86	75
---------	-----	----	----	----

地区別求人状況・決定状況



就職決定状況

文系	理工系	文理(平均)計	芸術系
99.5%	99.8%	99.5%	99.3%

卒業・修了者数 (令和5年3月31日現在)

九州産業大学				
学部	人数	大学院		人数
国際文化学部	5,454	国際文化研究科	博士前期課程	244
人間科学部	361		博士後期課程	7
経済学部	13,256		博士課程	2
商学部	840	経済・ビジネス研究科	博士前期課程	152
地域共創学部	476		博士後期課程	7
商学部第一部	40,605	経済学研究科	博士前期課程	196
商学部第二部	3,706		博士後期課程	7
経営学部	17,713	商学研究科	博士前期課程	199
理工学部	839		博士後期課程	10
生命科学部	263	経営学研究科	博士前期課程	216
建築都市工学部	498		博士後期課程	14
情報科学部	1,806	情報科学研究科	博士前期課程	96
工学部	30,662		博士後期課程	4
芸術学部	17,785	工学研究科	博士前期課程	1,182
			博士後期課程	38
		芸術研究科	博士前期課程	746
			博士後期課程	44
小計	134,264	小計		3,191
合計		137,455		

※博士の学位を授与された国際文化研究科博士課程の27人は上記の表に含んでいない。
(単位:人)

九州産業大学大学院 修了者以外の学位授与者数	
学位	人数
博士(工学)	5 ^{※1}
博士(文学)	3 ^{※1}
修士(文学)	27 ^{※2}

九州産業大学造形短期大学部	
学科	人数
造形芸術学科	1,833
美術科	1,098
デザイン科	7,140
写真科	1,038
合計	11,109

※1 本学博士後期課程在籍以外の者が、博士学位論文を提出し所定の審査および試験に合格し、博士の学位を授与された者
※2 国際文化研究科博士課程を退学し、修士の学位を授与された者

教職員数(人) (令和5年5月1日現在)

区分	九州産業大学	九州産業大学造形短期大学部	合計
教育職員	370(88)	14(2)	384(90)
事務職員	286(149)	6(5)	292(154)
合計	656(237)	20(7)	676(244)

※()は女性で内数。
※教育職員には、客員教授9人、特任教員8人、常勤講師19人を含む。
※事務職員には、メイト職員45人、クルー職員58人、受入出向者2人を含む。

施設(土地と建物) (令和5年5月1日現在)

■土地

九州産業大学・造形短期大学部(共用)		
種別	面積(m ²)	
校地	校舎敷地	166,473.53
	運動場用地	243,528.65
小計	410,002.18	
寄宿舎	10,803.00	
職員住宅	352.00	
その他	1,881.72	
小計	13,036.72	
合計	423,038.90	

※松香台キャンパスの校地面積は約220,000m²

九州産業大学造形短期大学部		
種別	面積(m ²)	
校地	校舎敷地	2,098.00
	運動場用地	0.00
合計	2,098.00	

校地合計	412,100.18
総計	425,136.90

大学基準面積: 101,200m²
短大基準面積: 3,000m²

■建物

九州産業大学	
種別	面積(m ²)
校舎	176,484.19
職員住宅	0.00
合計	176,484.19

九州産業大学造形短期大学部	
種別	面積(m ²)
校舎	4,618.64
合計	4,618.64

共用	
種別	面積(m ²)
校舎	1,633.00
体育施設	21,790.24
寄宿舎	9,827.22
合計	33,250.46

校地合計	182,735.83
総計	214,353.29

大学基準面積: 71,994.60m²
短大基準面積: 4,314m²

図書館(蔵書冊数と座席数) (令和5年3月31日現在)

区分	九州産業大学	九州産業大学造形短期大学部
所蔵図書	和	550,876冊
	洋	253,586冊
	計	804,462冊
視聴覚資料	和	26,286点
	洋	7,700点
	計	33,986点
所蔵雑誌	和	2,414種
	洋	3,071種
	計	5,485種
その他	電子ジャーナル	31,312種
	電子データベース	16種
閲覧座席数	1,108席	

※視聴覚資料の総数は、所蔵図書に含む。

文理芸で、磨き合え。

超える 学をぶ。



九州産業大学

KIU KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

〒813-8503 福岡県東区松香台2丁目3-1
TEL 092-673-5050(代表)



九州産業大学造形短期大学部
ZOKEI KYUSHU SANGYO UNIVERSITY, ZOKEI JUNIOR COLLEGE OF ART AND DESIGN

〒813-8503 福岡県東区松香台2丁目3-1
TEL 092-673-5151(代表)



ACCREDITED
2020

2023.09